

平成25年度 第1回

地域包括支援分科会

資料 3

議事（3）

地域協働による買い物支援モデルについて

平成 25 年 7 月 31 日
北九州市保健福祉局総務課

地域協働による買い物支援モデル事業について

少子高齢化や都市化の進行にともない、身近なところに商店がなく、日々の買い物に不安を抱えた高齢者などの「買い物弱者」の問題が地域に広がりつつあります。

こうした新たなニーズに対応して、商品の配送やインターネット注文による宅配などの民間サービスが進められていますが、これに加えて「ふれあい朝市」や地元商店街での「買い物の付き添い・支援」などの活動に自ら取り組む地域も増えてきました。

こうした現状を踏まえ、地域社会の協働による買い物支援の取り組みをさらに進めるため、北九州市では新たに住民参加のワークショップ(話し合い)方式による買い物支援の計画づくりを行うこととしました。

平成25年度はモデル事業として、各区1か所で計画づくりを行います。

1 取り組みの概要

小学校区を単位として、各区にモデル地区（各区1か所、全7か所）を選定し、住民参加のワークショップ（話し合い）方式により、平成25年度中を目途に、買い物支援の地域活動計画を作成します。

この計画を作成した地域では、次の年度に、計画に基づいて「地域協働」による買い物支援の取り組みを行います。

(1) 活動の主体

まちづくり協議会、自治会など（地域の現状を踏まえて調整）

(2) 平成25年度の活動内容

平成25年度は、買い物支援の計画づくりのための話し合い（ワークショップ）を行います。話し合いは平成25年8月頃から開始し、平成26年1月までに、概ね3～4回の会議を行い、計画をまとめる予定です。

※ 来年度から行う買い物支援の活動内容や、関係者の役割分担などについて、ワークショップの中で検討します。

(3) 市の取り組み

市では、地域活動の計画づくりを円滑に進めるため、以下の対応を行います。このほか今後の市の役割について、計画づくりの話し合いに参加する中で、地域の皆様と一緒に検討を進めます。

① 計画の素案（たたき台）や資料の作成

活動団体の検討に先立ち、高齢者の人口分布や商業施設、公共交通機関の分布などの客観的なデータや、買い物支援の活動事例を集約するとともに、計画の素案を作ります。また話し合いの資料づくりや記録も行います。

② まちづくりコーディネーターの派遣

活動団体別の計画づくりを支援するため、まちづくりのコーディネーターを地域に派遣します。

このコーディネーターは、話し合いの進行役をつとめるだけでなく、地元の商業関係者など“買い物支援の担い手”との調整を行うなど、次年度からの活動立ち上げに向けて、地域の皆さんと一緒に準備を進めます。

③ 高齢者実態調査の実施

計画づくりの基礎資料として、モデル地域内の高齢者を対象に、買い物支援に関するアンケート調査を行います。

④ 話し合い（ワークショップ）にかかる経費の負担

資料の印刷をはじめ、話し合い（ワークショップ）のための諸経費は市が負担します。

2 モデル校区の選定について

本件は新たな試みであることから、平成25年度のモデル校区については、高齢化などの状況や地域の意向を踏まえて、市が決定いたします。

3 今後の予定

- ◇ 25年7～8月 … モデル校区の決定
校区別ワークショップの開始

【お問い合わせ】

北九州市 保健福祉局総務課（担当 安藤、岩佐）
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号
電話：582-2497 FAX：582-2095